

学科目標と授業時間数一覧

年度	学科名	学年	担任名					
令和 6年度	美容総合学科	1年	中村光良					
学科概略	高度な知識と即戦力となる技術を習得し、美容業界に貢献できる高い意識をもった人材を養成する学科である。国家資格である美容師免許取得はもとより、社会人としての人間力や常識を備えた次世代を担う技術者を養成する。							
	コース選択制導入を最大限活かし多角的に美容業界で活躍できる人材を育てる。							
到達目標	・挨拶、返事など基本的行動の徹底							
	・美容の基礎技術を身に付け・理論を十分理解し美容師国家試験対策に対応できる学力をつける							
	・自からが考え、行動し、自立する							
	・各種検定・コンペティション入賞							
目標へ対しての具体的取組	1)学外実習を行い、接客マナー、ビジネスマインドをはじめ、社会に通用する基本的マナーを身につける。							
	2)美容師としての基礎的な技術や、理論をその度チェックや補講を行い理解、習得していく。							
	3)感性、創造性を培うために外部へのイベントに積極的に参加し、「本物」の情報収集、提供をしていく。							
授 業 時 間 数 及 び 区 分								
科目名	担当教員	授業時間数		年間授業時間数	授業区分①	授業区分②	授業方法	
		前期	後期					
1 関係法規・制度	宮上 知史	非常勤	12	11	23	必修	専門	講義
2 衛生管理	中村 光良	常勤	27	29	56	必修	専門	講義
3 保健	濱田 孝映	常勤	28	28	56	必修	専門	講義
4 化粧品化学	久川 理香	常勤	14	31	45	必修	専門	講義
5 美容技術理論	中村・濱田・久川	常勤	40	61	101	必修	専門	講義
6 美容実習	中村・濱田・久川	常勤	159	288	447	必修	専門	実習
7 運営管理	宮上 知史	非常勤	12	11	23	必修	専門	講義
8 文化論	山崎 紀代	非常勤	10	35	45	必修	専門	講義
9 接遇	西村 侑剛	非常勤	16	18	34	選択必修	一般	演習
10 一般教養	福重 忠司	常勤	10	24	34	選択必修	一般	演習
11 色彩学	山崎 道	非常勤	33	33	66	選択必修	専門	実習
12 メイク・ベーシック	山崎 紀代	非常勤	51	16	67	選択必修	専門	実習
13 美容総合技術	中村・濱田・久川	常勤	33	136	169	選択必修	専門	実習
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合計時間数			445	721	1166			

学科目標と授業時間数一覧

年度	学科名	学年	担任名					
令和 6年度	美容総合学科スタイリストコース	1年	中村光良					
学科概略	高度な知識と即戦力となる技術を習得し、美容業界に貢献できる高い意識をもった人材を養成する学科である。国家資格である美容師免許取得はもとより、社会人としての人間力や常識を備えた次世代を担う技術者を養成する。							
	コース選択制導入を最大限活かし多角的に美容業界で活躍できる人材を育てる。							
到達目標	・挨拶、返事など基本的行動の徹底							
	・美容の基礎技術を身に付け・理論を十分理解し美容師国家試験対策に対応できる学力をつける							
	・自からが考え、行動し、自立する							
	・各種コンペティション入賞(ビューティーグランプリ・フォトコンテストなど)							
目標へ対しての具体的取組	1)学外実習を行い、接客マナー、ビジネスマインドをはじめ、社会に通用する基本的マナーを身につける。							
	2)美容師としての基礎的な技術や、理論をその度チェックや補講を行い理解、習得していく。							
	3)感性、創造性を培うために外部へのイベントに積極的に参加し、「本物」の情報収集、提供をしていく。							
授 業 時 間 数 及 び 区 分								
科目名	担当教員	授業時間数		年間授業時間数	授業区分①	授業区分②	授業方法	
		前期	後期					
1 関係法規・制度	宮上 知史	非常勤	12	11	23	必修	専門	講義
2 衛生管理	中村 光良	常勤	27	29	56	必修	専門	講義
3 保健	濱田 孝映	常勤	28	28	56	必修	専門	講義
4 化粧品化学	久川 理香	常勤	14	31	45	必修	専門	講義
5 美容技術理論	中村・濱田・久川	常勤	40	61	101	必修	専門	講義
6 美容実習	中村・濱田・久川	常勤	159	288	447	必修	専門	実習
7 運営管理	宮上 知史	非常勤	12	11	23	必修	専門	講義
8 文化論	山崎 紀代	非常勤	10	35	45	必修	専門	講義
9 接遇	西村 侑剛	非常勤	16	18	34	選択必修	一般	演習
10 一般教養	福重 忠司	常勤	10	24	34	選択必修	一般	演習
11 色彩学	山崎 道	非常勤	33	33	66	選択必修	専門	実習
12 メイク・ベーシック	山崎 紀代	非常勤	51	16	67	選択必修	専門	実習
13 美容総合技術ヘアセット	濱田 孝映	常勤	0	42	42	選択必修	専門	実習
14 美容総合技術ヘアデザイン	中村・濱田・久川・前田	常勤	33	62	95	選択必修	専門	実習
15 美容総合技術福祉美容	中村 光良	常勤	0	32	32	選択必修	専門	実習
16								
17								
18								
19								
20								
合計時間数			445	721	1166			

学科目標と授業時間数一覧

年度	学科名	学年	担任名					
令和 6年度	美容総合学科ネイルコース	1年	中村光良					
学科概略	高度な知識と即戦力となる技術を習得し、美容業界に貢献できる高い意識をもった人材を養成する学科である。国家資格である美容師免許取得はもとより、社会人としての人間力や常識を備えた次世代を担う技術者を養成する。							
	コース選択制導入を最大限活かし多角的に美容業界で活躍できる人材を育てる。							
到達目標	・挨拶、返事など基本的行動の徹底							
	・美容の基礎技術を身に付け・理論を十分理解し美容師国家試験対策に対応できる学力をつける							
	・自からが考え、行動し、自立する							
	・各種検定取得(ネイリスト技能検定3級・ジェルネイル技能検定初級)							
目標へ対しての具体的取組	1)学外実習を行い、接客マナー、ビジネスマインドをはじめ、社会に通用する基本的マナーを身につける。							
	2)美容師としての基礎的な技術や、理論をその度チェックや補講を行い理解、習得していく。							
	3)感性、創造性を培うために外部へのイベントに積極的に参加し、「本物」の情報収集、提供をしていく。							
授 業 時 間 数 及 び 区 分								
科目名	担当教員	授業時間数		年間授業時間数	授業区分①	授業区分②	授業方法	
		前期	後期					
1 関係法規・制度	宮上 知史	非常勤	12	11	23	必修	専門	講義
2 衛生管理	中村 光良	常勤	27	29	56	必修	専門	講義
3 保健	濱田 孝映	常勤	28	28	56	必修	専門	講義
4 化粧品化学	久川 理香	常勤	14	31	45	必修	専門	講義
5 美容技術理論	中村・濱田・久川	常勤	40	61	101	必修	専門	講義
6 美容実習	中村・濱田・久川	常勤	159	288	447	必修	専門	実習
7 運営管理	宮上 知史	非常勤	12	11	23	必修	専門	講義
8 文化論	山崎 紀代	非常勤	10	35	45	必修	専門	講義
9 接遇	西村 侑剛	非常勤	16	18	34	選択必修	一般	演習
10 一般教養	福重 忠司	常勤	10	24	34	選択必修	一般	演習
11 色彩学	山崎 道	非常勤	33	33	66	選択必修	専門	実習
12 メイク・ベーシック	山崎 紀代	非常勤	51	16	67	選択必修	専門	実習
13 美容総合技術 ネイル・ベーシック	久川 理香	常勤	33	136	169	選択必修	専門	実習
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合計時間数			445	1887	1166			

学科目標と授業時間数一覧

年度		学科名		学年	担任名			
令和 6年度		美容総合学科 ビューティ&ブライダルコース		1年	中村光良			
学科概略	高度な知識と即戦力となる技術を習得し、美容業界に貢献できる高い意識をもった人材を養成する学科である。国家資格である美容師免許取得はもとより、社会人としての人間力や常識を備えた次世代を担う技術者を養成する。							
	コース選択制導入を最大限活かし多角的に美容業界で活躍できる人材を育てる。							
到達目標	・挨拶、返事など基本的行動の徹底							
	・美容の基礎技術を身に付け・理論を十分理解し美容師国家試験対策に対応できる学力をつける							
	・自からが考え、行動し、自立する							
	・各種コンペティション入賞(ビューティグランプリ・フォトコンテストなど)							
目標へ対しての具体的取組	1)学外実習を行い、接客マナー、ビジネスマインドをはじめ、社会に通用する基本的マナーを身につける。							
	2)美容師としての基礎的な技術や、理論をその度チェックや補講を行い理解、習得していく。							
	3)感性、創造性を培うために外部へのイベントに積極的に参加し、「本物」の情報収集、提供をしていく。							
授 業 時 間 数 及 び 区 分								
科目名	担当教員	授業時間数		年間授業時間数	授業区分①	授業区分②	授業方法	
		前期	後期					
1 関係法規・制度	宮上 知史	非常勤	12	11	23	必修	専門	講義
2 衛生管理	中村 光良	常勤	27	29	56	必修	専門	講義
3 保健	濱田 孝映	常勤	28	28	56	必修	専門	講義
4 化粧品化学	久川 理香	常勤	14	31	45	必修	専門	講義
5 美容技術理論	中村・濱田・久川	常勤	40	61	101	必修	専門	講義
6 美容実習	中村・濱田・久川	常勤	159	288	447	必修	専門	実習
7 運営管理	宮上 知史	非常勤	12	11	23	必修	専門	講義
8 文化論	山崎 紀代	非常勤	10	35	45	必修	専門	講義
9 接遇	西村 侑剛	非常勤	16	18	34	選択必修	一般	演習
10 一般教養	福重 忠司	常勤	10	24	34	選択必修	一般	演習
11 色彩学	山崎 道	非常勤	33	33	66	選択必修	専門	実習
12 メイク・ベーシック	山崎 紀代	非常勤	51	16	67	選択必修	専門	実習
13 美容総合技術 メイク・アドバンス	山崎 紀代	非常勤		94	94	選択必修	専門	実習
14 美容総合技術 着付け	斧山 睦	非常勤	33		33	選択必修	専門	実習
15 美容総合技術 ヘアセット	濱田 孝映	常勤		42	42	選択必修	専門	実習
16								
17								
18								
19								
20								
合計時間数			445	1887	1166			

令和 6年度 シラバス

授業科目	関係法規・制度	単位／時間	23h		
開講学科等	美容総合学科	担当教員	宮上知史		
授業の目的・テーマ	美容業に関する関係法規・制度について正しい知識習得の必要性を理解させるとともに公衆衛生を担う社会的義務、職業倫理についても自覚を促す。美容師に関する規制内容を正確に理解させるとともに、衛生法規が美容業を行う場合の指針になることを理解させる。				
授業の到達目標	①法とは何かを理解する。②衛生行政の仕組みを理解する。③美容師、美容所に関する法規制を理解する。④美容業に関する法規について理解する。				
授業 の 計 画	1	4月 12日 1h	社会生活における法の役割	26	月 日 h
	2	4月 26日 1h	法の形式	27	月 日 h
	3	5月 10日 1h	衛生法規の概要	28	月 日 h
	4	5月 17日 1h	衛生行政の概要	29	月 日 h
	5	5月 24日 1h	保健所の役割と機構	30	月 日 h
	6	6月 7日 1h	美容師法の目的	31	月 日 h
	7	6月 14日 1h	用語の定義	32	月 日 h
	8	6月 21日 1h	養成施設の入所資格等	33	月 日 h
	9	6月 28日 1h	美容師試験	34	月 日 h
	10	7月 5日 1h	免許と登録	35	月 日 h
	11	7月 12日 1h	期末試験	36	月 日 h
	12	7月 19日 1h	期末試験解答解説	37	月 日 h
	13	9月 6日 2h	美容師法の復習①	38	月 日 h
	14	9月 13日 1h	美容師の義務	39	月 日 h
	15	10月 11日 1h	免許変更手続き	40	月 日 h
	16	10月 18日 1h	管理美容師	41	月 日 h
	17	10月 25日 1h	美容所の開設	42	月 日 h
	18	11月 1日 1h	開設者が講ずべき衛生措置	43	月 日 h
	19	11月 8日 1h	美容所外での業務	44	月 日 h
	20	11月 15日 1h	立入検査	45	月 日 h
	21	11月 22日 1h	行政処分と罰則	46	月 日 h
	22	11月 29日 1h	期末試験	47	月 日 h
	23	月 日 h		48	月 日 h
	24	月 日 h		49	月 日 h
	25	月 日 h		50	月 日 h
授業の方法	テキストを中心に適宜プリント等を利用する。				
テキスト/参考文献	公益社団法人 日本理容美容教育センター 関係法規・制度				
評価の方法や基準	期末試験100%				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項					

令和 6年度 シラバス

授業科目	衛生管理	単位/時間	56							
開講学科等	美容総合学科1年	担当教員	中村 光良							
授業の目的・テーマ	公衆衛生発展の歩み免疫学の確立などの衛生歴史を知ることにより知識を深めやすく近代衛生への繋がりを学ぶ。									
授業の到達目標	公衆衛生の歴史、環境衛生、母子保健、医療制度等の理解。									
授業の計画	1	4.16	1h	公衆衛生の意義と課題	26	1.7	1.10	3h	上・下水道と廃棄物①	
	2	4.23	1h	公衆衛生発展の歴史	27	1.14	1.17	3h	上・下水道と廃棄物②	
	3	4.3	1h	理容師・美容師と公衆衛生	28	1.21	1.24	3h	衛生害虫とネズミ①	
	4	5.7	1h	保健所と理容業・美容業	29	1.28	1.31	3h	衛生害虫とネズミ②	
	5	5.14	5.15	2h	復習・確認	30	2.4	2.7	3h	テスト
	6	5.21	5.22	3h	予防医学①	31	2.14		1h	理容所・美容所の環境衛生①
	7	5.28	5.29	3h	前期テスト・解説	32	2.18		2h	理容所・美容所の環境衛生②
	8	6.4	6.5	3h	予防医学②	33			h	
	9	6.11	6.12	3h	公衆衛生と統計	34			h	
	10	6.18	6.19	2h	公衆衛生と統計	35			h	
	11	6.25	6.26	2h	保健①	36			h	
	12	7.2	7.3	2h	保健②	37			h	
	13	7.9	7.1	2h	医療介護の制度①	38			h	
	14	7.16		1h	医療介護の制度②	39			h	
	15	9.3		1h	復習・確認	40			h	
	16	9.10		1h	環境衛生の概要	41			h	
	17	10.8		1h	空気・水・日光①	42			h	
	18	10.15		1h	衣食住と健康①	43			h	
	19	10.22		1h	衣食住と健康②	44			h	
	20	10.29		1h	復習・確認	45			h	
	21	11.5		1h	テスト	46			h	
	22	11.12		1h	公害と環境保全①	47			h	
	23	11.19		1h	公害と環境保全②	48			h	
	24	11.26		1h	復習・確認	49			h	
	25	12.3		1h	復習・確認	50			h	
授業の方法	講義									
テキスト/参考文献	教科書、ワークブック、過去問題									
評価の方法や基準	提出物、試験成績、授業態度などによって総合的に評価する。									
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する									○	
実務経験	美容師としての実務経験、日本理容美容教育センター教員研修（衛生管理）受講									
実務経験の活かし方	サロンワークで必要な衛生管理と担当科目の教員研修による国家試験対応									
履修上の注意事項	出席率90%・ノートの提出									

令和 6 年度 シラバス

授業科目	保健	単位／時間	56h					
開講学科等	美容総合学科 1年	担当教員	濱田 孝映					
授業の目的・テーマ	人体の機能及び機能、疾病及び治療法を学習し、健康とは何か学ぶ。							
授業の到達目標	人体の機能及び機能を理解する。保健の知識を持つ美容の専門家であると認識する。							
授業の計画	1	4/16	2h	人体の構造及び機能	26	1/7	2h	皮膚と付属器官の生理機能
	2	4/23	2h	体表解剖学	27	1/14	2h	皮膚と付属器官の生理機能
	3	4/30	2h	骨格器系	28	1/21	2h	後期試験
	4	5/7	2h	骨格器系	29		h	
	5	5/14	2h	筋系	30		h	
	6	5/21	2h	筋系	31		h	
	7	5/28	2h	神経系	32		h	
	8	6/4	2h	神経系	33		h	
	9	6/11	2h	感覚器系	34		h	
	10	6/18	2h	血液、循環器系	35		h	
	11	6/25	2h	前期試験	36		h	
	12	7/2	2h	血液、循環器系	37		h	
	13	7/9	2h	呼吸器系	38		h	
	14	7/16	2h	呼吸器系	39		h	
	15	9/3	2h	呼吸器系	40		h	
	16	9/10	2h	消化器系	41		h	
	17	10/8	2h	消化器系	42		h	
	18	####	2h	皮膚の構造	43		h	
	19	####	2h	皮膚の構造	44		h	
	20	####	2h	皮膚の構造	45		h	
	21	11/5	2h	皮膚付属器官の構造	46		h	
	22	####	2h	皮膚付属器官の構造	47		h	
	23	####	2h	皮膚付属器官の構造	48		h	
	24	####	2h	皮膚の循環系と神経系	49		h	
	25	12/3	2h	皮膚と付属器官の生理機能	50		h	
授業の方法	教科書を中心の座学							
テキスト/参考文献	保健教科書、ワークブック、解剖生理学							
評価の方法や基準	提出物(20)、試験成績(80)により評価							
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する								○
実務経験	美容師歴13年。養成施設教員歴12年。 保健教員資格認定試験修了。							
実務経験の活かし方	美容師の経験と養成施設の経験を交えて、保健の大切さを伝える。							
履修上の注意事項								

令和6年度 シラバス

授業科目	化粧品化学	単位／時間	45時間	
開講学科等	美容総合学科1年	担当教員	久川 理香	
授業の目的・テーマ	化粧品概論、原料、基礎・メイクアップ・頭皮毛髪用化粧品、芳香製品・特殊化粧品の基礎的・基本的な内容について学習し、化粧品の取り扱い方等、美容に関する知識を習得する。			
授業の到達目標	化粧品化学の基本原理を理解し、それを美容に応用できる力をもった美容師			
授業の計画	1	4月 16日 1h 授業の目的と計画・インデックス	22	1月 24日 1h 第2編第1章1節化粧品の効果と使用プロセス
	2	4月 23日 1h インデックス		1月 27日 2h 第1章2節クレンジング用化粧品
	3	4月 30日 1h 第1編第1章化粧品総論	23	1月 28日 2h 第1章3節コンディショニング用化粧品
	4	5月 7日 1h 第1編第1章化粧品総論		1月 31日 1h 第1章3節コンディショニング用化粧品
	5	5月 14日 1h 第2章化粧品を使用する際に気をつけるべきこと 1節化粧品の使用による症状	24	2月 3日 2h 第1章4節トリートメント用化粧品
	6	5月 21日 1h 第2章2節化粧品の定義と法規制	25	2月 4日 2h 第2章1節メイクアップ製品の種類と剤形 2節ベースメイクアップ化粧品
	7	7月 2日 2h 第2章2節化粧品の定義と法規制	26	2月 7日 1h 第2章3節ポイントメイクアップ化粧品
		7月 3日 1h 第2章3節化粧品の安全性と安定性	27	2月 17日 1h 第2章4節アイメイクアップ化粧品
	8	7月 9日 2h 第2章3節化粧品の安全性と安定性	28	2月 18日 2h 第2章5節まつ毛ケア製品 6節ネイルメイクアップ製品
		7月 10日 2h 第1章・第2章テスト	29	月 日 h
	9	7月 16日 2h 第1章・第2章プリント	30	月 日 h
	10	9月 3日 1h 第3章1節化粧品の成り立ち・ 第3章2節水と親水性溶媒	31	月 日 h
	11	9月 10日 1h 第3章3節油性原料	32	月 日 h
	12	10月 8日 1h 第3章3節油性原料プリント	33	月 日 h
	13	10月 15日 1h 第3章4節界面活性剤	34	月 日 h
	14	10月 22日 1h 第3章4節界面活性剤	35	月 日 h
	15	10月 29日 1h 第3章4節界面活性剤	36	月 日 h
	16	11月 5日 1h 4節界面活性剤プリント	37	月 日 h
	17	11月 12日 1h 第3章5節高分子化合物	38	月 日 h
	18	11月 19日 1h 第3章6節色材	39	月 日 h
	19	11月 26日 1h 第3章7節香料	40	月 日 h
	20	12月 3日 1h 5節～7節プリント	41	月 日 h
21	1月 10日 1h 第3章8節製品を安定させる配合原料	42	月 日 h	
22	1月 17日 1h 9節その他の機能性配合原料・10節雑貨原料	43	月 日 h	
	1月 20日 2h 第1章～第3章までの復習。プリント	44	月 日 h	
授業の方法	講義・パワーポイント・まとめプリント・小テスト			
テキスト/参考文献	化粧品化学（日本理容美容教育センター）・化粧品成分表			
評価の方法や基準	提出物および小テスト（60）・授業態度（30）・出席率（10）			
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する				
実務経験				
実務経験の活かし方				
履修上の注意事項	モニターの設置／プリントチェック・保管			

令和 6 年度 シラバス

授業科目	美容技術理論	単位/時間	101 h									
開講学科等	美容総合学科 1年	担当教員	濱田 孝映									
授業の目的・テーマ	多様化する美容の技術に対応するには、裏付けされた理論が求められる。科学的根拠や正しい裏づけを理解・学習し、技術の習得を容易にさせる。											
授業の到達目標	美容技術の基礎知識を理解させ、国家試験筆記を合格レベルにする。											
授業の計画	1	4/12		1h	美容理論について	26	1/9	1/10		3h	エステティック概論	
	2	4/18		1h	美容技術における作業姿勢・人体各部の名称	27	1/16	1/17		3h	皮膚の生理と構造・カウンセリング・美容におけるマッサージ理論・フェイシャルケア技術・デコルテ	
	3	4/25	4/26		2h	美容用具について	28	1/23	1/24		3h	フェイシャルパック・ボディケア技術・章テスト
	4	5/2			2h	サイドシャンプー・バックシャンプー・シャンプーの目的	29	1/30	1/31		3h	メイクアップ概論・顔の形態学・メイクアップと色彩・メイクアップの道具
	5	5/9	5/10		3h	章テスト・リンス等の役割から成分	30	2/6	2/7		3h	パーマ剤の種類・タイプ別特徴・染毛のメカニズム
	6	5/16	5/17		2h	リンスの目的	31	2/13	2/14		4h	章テスト・期末試験
	7	5/22	5/23	5/24	4h	スキャulptトリートメント・ヘッドスパ	32	2/20			2h	日本髪の由来・各部の名称・種類と特徴調和・日本髪の装飾品
	8	5/29	5/30		3h	章テスト・ヘアデザインの錯視	33				h	
	9	6/5	6/6	6/7	4h	ヘアデザインの錯視	34				h	
	10	6/12	6/13	6/14	4h	デザインの要素・原理	35				h	
	11	6/19	6/20	6/21	3h	デザインの要素・原理・期末テスト	36				h	
	12	6/26	6/27	6/28	3h	ヘアカッティングの目的・ヘアカッティング基礎理論・期末試験	37				h	
	13	7/3	7/4	7/5	3h	カット技法	38				h	
	14	7/10	7/11	7/12	3h	カット技法	39				h	
	15	7/18	7/19		2h	カット技法・章テスト	40				h	
	16	10/9	####	####	4h	パーマネットウェーブの理論・分類・パーマ剤に関する注意事項	41				h	
	17	####	####	####	4h	パーマネットウェーブの理論・分類・パーマ剤に関する注意事項	42				h	
	18	####	####	####	4h	ワインディングのバリエーション・縮毛矯正・章テスト	43				h	
	19	####	####	11/1	4h	ヘアセットのパーティング・シェービング・カーリング	44				h	
	20	11/6	11/7	11/8	4h	ヘアウェービング・ローラーカーリング・ブロードライ	45				h	
	21	####	####	####	4h	アイロンセット・デブスタイル・章テスト	46				h	
	22	####	####	####	4h	ヘアカラーの種類・タイプ別特徴・染毛のメカニズム	47				h	
	23	####	####	####	4h	パッチテスト・色の基本・毛髪のレベルとアンダートーン・染毛剤使用時の注意事項	48				h	
	24	12/4	12/6		5h	ヘアカラーリング道具・酸化染毛剤・技術手順・酸性染毛料の技術手順ヘアブリーチ	49				h	
	25	####	####		3h	章テスト	50				h	
授業の方法	教科書を中心に、パソコン・モニターを使用して講義する											
テキスト/参考文献	美容技術理論 1・2 ベーシックケミカル改訂版 ワークブック 美容師国家試験筆記過去問題集											
評価の方法や基準	提出物20% 章テスト30% 期末試験50%の総合で評価する											
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する											○	
実務経験	美容師歴 13 年。養成施設教員歴12年。 美容技術理論・実習教員資格認定試験修了。											
実務経験の活かし方	サロンでの実際を交えながら美容理論を理解させる											
履修上の注意事項	予習・復習を心がけ、配布プリントやノートはいつでも出せるようにする。 持参物：美容技術理論教科書 筆記用具											

令和 6年度 シラバス

授業科目	美容実習	単位/時間	447											
開講学科等	美容総合学科1年	担当教員	中村・久川・濱田											
授業の目的・テーマ	国家試験内容をベースに基本的な、知識、姿勢、技術を身につける。美容師としての基本技術を習得させ、即戦力となるアシスタント育成する。													
授業の到達目標	ワインディング、コンテスト入賞。国家試験課題内容（カット、ウェーブ、ワインディング）技術の習得。ヘアカラー、ブロー、セット、デザインカット等の基礎技術を習得。													
授業の計画	1	4.12			4h	ワインディング基礎	26	11.11	11.14	11.15		12h	オールウェーブ・ワインディング	
	2	4.15	4.16	4.17	4.19	18h	ワインディング（上巻き・下巻き）	27	11.18	11.21	11.22		12h	オールウェーブ・ワインディング
	3	4.22	4.23	4.24	4.26	15h	ワインディング（センター）（バックサイド・サイド）	28	11.25	11.28	11.29		12h	カット・オールウェーブ
	4	4.30	5.1			7h	ワインディング・センター	29	12.2	12.5	12.6		16h	カット・オールウェーブ
	5	5.8	5.10			8h	ワインディング・センター14分バックサイド片側10分	30	12.12				3h	オールウェーブ・ワインディング
	6	5.13	5.15	5.16	5.17	14h	ワインディング・センター12分バックサイド	31	12.16	~	~	12.20	35h	実務実習
	7	5.20	5.23	5.24		11h	ワインディング30分	32	1.9	1.10			6h	オールウェーブ・ワインディング
	8	5.27	5.30			7h	ワインディング30分	33	1.16	1.17			6h	オールウェーブ・ワインディング
	9	6.3	6.6	6.7		11h	ワインディング25分	34	1.20	1.23	1.24		11h	カット・オールウェーブ
	10	6.13	6.14			7h	ワインディング20分	35	1.27	1.28	1.30	1.31	14h	カット・オールウェーブ
	11	6.17	6.20	6.21		11h	ワインディング20分・RT	36	2.3	2.4	2.6	2.7	14h	カット・オールウェーブ
	12	6.24	6.27	6.28		11h	ワインディング20分・RT	37	2.13	2.14			8h	カット・オールウェーブ
	13	7.1	7.4	7.5		13h	ワインディング20分・RT	38	2.17	2.18	2.20		16h	カット・オールウェーブ
	14	7.8	7.11	7.12		13h	ワインディング30分	39	2.25				7h	テスト
	15	7.17	7.18	7.19		9h	フィンガーウェーブ	40					h	
	16	9.4	9.5			12h	フィンガーウェーブ	41					h	
	17	9.9	9.11	9.12		16h	フィンガーウェーブ	42					h	
	18	9.17	9.19			11h	フィンガーウェーブ	43					h	
	19	9.24	9.25	9.26		12h	オールウェーブ・アップスタイル	44					h	
	20	9.30	10.1	10.3		19h	オールウェーブ・アップスタイル	45					h	
	21	10.7	10.10	10.11		11h	オールウェーブ・アップスタイル	46					h	
	22	10.17	10.18			6h	オールウェーブ・アップスタイル	47					h	
	23	10.21	10.24	10.25		11h	オールウェーブ・アップスタイル	48					h	
	24	10.28	10.31	11.1		11h	オールウェーブ・ワインディング	49					h	
	25	11.7	11.8			7h	オールウェーブ・ワインディング	50					h	
授業の方法	教科書をベースに理論、教員がデモを見せ、実習させる。													
テキスト/参考文献	美容実習1, 2（教科書）美容師実技試験課題「技術の解説」													
評価の方法や基準	授業態度50%・定期的テスト50%													
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する												○		
実務経験	美容師として勤務。日本理容美容教育センター（美容技術理論・美容実習研修済）													
実務経験の活かし方	髪の毛を扱ううえで、コームの持ち方、スライスの仕方、ハサミの持ち方、基本的な姿勢を教えていく。国家試験課題は教員経験で養った技術、テクニックを教えていく。													
履修上の注意事項	教材（ハサミetc）でのケガ、衛生の徹底、カリキュラムに沿った準備の徹底													

令和 6年度 シラバス

授業科目	運営管理	単位/時間	23 h		
開講学科等	美容総合学科	担当教員	宮上知史		
授業の目的・テーマ	美容所の運営に欠かせない経営戦略、経営管理、労務管理など、基本的な理論や事項を学び、健康管理についても考えられるようにする。				
授業の到達目標	経営の基礎を学び、経営戦略や経営計画について理解する。会計の歴史、基本構造を学び会計が経営に役立つことを理解する。労務管理に関する法律や制度を理解し、美容業などサービス業の特徴を理解する。				
授業 の 計 画	1	4月 12日 1h	経営とは何か	26	月 日 h
	2	4月 26日 1h	経営の目的	27	月 日 h
	3	5月 10日 1h	経営戦略①	28	月 日 h
	4	5月 17日 1h	経営戦略②	29	月 日 h
	5	5月 24日 1h	美容業界の現状・社会の変化	30	月 日 h
	6	6月 7日 1h	美容業における競争	31	月 日 h
	7	6月 14日 1h	資金の管理	32	月 日 h
	8	6月 21日 1h	会計入門	33	月 日 h
	9	6月 28日 1h	会計の考え方	34	月 日 h
	10	7月 5日 1h	コストを管理する	35	月 日 h
	11	7月 12日 1h	期末試験	36	月 日 h
	12	7月 19日 1h	期末試験解答解説	37	月 日 h
	13	9月 6日 1h	税金について	38	月 日 h
	14	9月 13日 2h	人という資源	39	月 日 h
	15	10月 11日 1h	給与・待遇・福利厚生	40	月 日 h
	16	10月 18日 1h	労働者の権利	41	月 日 h
	17	10月 25日 1h	新しい問題への対応	42	月 日 h
	18	11月 1日 1h	社会人としての責任	43	月 日 h
	19	11月 8日 1h	社会保険・公的年金	44	月 日 h
	20	11月 15日 1h	社会保険・医療保険	45	月 日 h
	21	11月 22日 1h	社会保険・労働保険	46	月 日 h
	22	11月 29日 1h	期末試験	47	月 日 h
	23	月 日 h		48	月 日 h
	24	月 日 h		49	月 日 h
	25	月 日 h		50	月 日 h
授業の方法	テキスト、プリント、パソコンを利用しながら講義する。				
テキスト/参考文献	公益社団法人 日本理容美容教育センター 運営管理				
評価の方法や基準	期末試験100%				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項					

令和 6 年度 シラバス

授業科目	文化論	単位/時間	45 h	
開講学科等	美容総合学科 1 年	担当教員	山崎 紀代	
授業の目的・テーマ	文化的側面を学習していき 美容文化と歴史の関係を学ぶ			
授業の到達目標	美容師と云う職業に誇りを持ち 時代の継承者として日本文化を次につなげていき、美容とファッションの関係を理解しながら ファッショントレンドの重要性を理解する。			
授業 の 計 画	1	4 18 3 h	総論・日本の美容の歴史	月 日 h
	2	4 25 3 h	ファッション文化史日本編 1	月 日 h
	3	5 2 2 h	ファッション文化史日本編 2	月 日 h
	4	5 9 2 h	ファッション文化史日本編 3	月 日 h
	5	9 26 3 h	ファッション文化史日本編 5	月 日 h
	6	10 3 2 h	7/13礼装 和装	月 日 h
	7	10 10 3 h	礼装 洋装	月 日 h
	8	10 17 3 h	ファッション文化史西洋編 1	月 日 h
	9	10 24 3 h	ファッション文化史西洋編 2	月 日 h
	10	1 8 3 h	ファッション文化史西洋編 3	月 日 h
	11	1 15 3 h	ファッション文化史西洋編 4	月 日 h
	12	1 22 3 h	レポート制作1920年	月 日 h
	13	1 29 3 h	レポート制作1950年	月 日 h
	14	2 5 3 h	レポート制作1960年	月 日 h
	15	2 12 3 h	レポート制作1980年	月 日 h
	16	2 19 3 h	レポート制作2000年	月 日 h
	17	月 日 h		月 日 h
	18	月 日 h		月 日 h
	19	月 日 h		月 日 h
	20	月 日 h		月 日 h
	21	月 日 h		月 日 h
	22	月 日 h		月 日 h
	23	月 日 h		月 日 h
	24	月 日 h		月 日 h
	25	月 日 h		月 日 h
授業の方法	教科書に基づき進めて行き 映像も見せながら理解さす			
テキスト/参考文献				
評価の方法や基準	レポート提出 授業態度 小テスト 中間、期末テスト			
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する				
実務経験	美術教員資格・美容師・花嫁着付け・ブライダル・ファッションシ			
実務経験の活かし方	ファッションの歴史や・通過儀礼に携わりながら日本の文化を教える			
履修上の注意事項	映像や写真、絵画など沢山の資料に目を通す事をさせるようにする			

令和 6年度 シラバス

授業科目	ビジネスマナー	単位/時間	34h							
開講学科等	美容総合学科1年	担当教員	西村 侑剛							
授業の目的・テーマ	就職先で必要とされ輝く人材になる									
授業の到達目標	マナーを身につけサービス力コミュニケーション力を上げ個人の魅力upに繋げる									
授業の計画	1	4・15	2h	自己紹介レクリエーション	26					h
	2	4・22	2h	基本動作	27					h
	3	5・13	2h	言葉使い	28					h
	4	5・20	2h	敬語テスト	29					h
	5	5・27	2h	電話対応	30					h
	6	6・3	2h	電話対応	31					h
	7	6・17	2h	電話対応	32					h
	8	6・24	2h	電話対応	33					h
	9	10・7	2h	スピーチ	34					h
	10	10・11	1h	サービス接客検定対応	35					h
	11	10・18	1h	サービス接客検定対応	36					h
	12	10・21 10・25	3h	サービス接客検定対応	37					h
	13	10・28	2h	サービス接客検定対応	38					h
	14	11・1	1h	サービス接客検定対応	39					h
	15	11・11	2h	入退室テスト	40					h
	16	11・18	2h	実務実習に向けて	41					h
	17	11・25	2h	自己紹介PR作り方	42					h
	18	12・2	2h	自己紹介PR作り方	43					h
	19			h	44					h
	20			h	45					h
	21			h	46					h
	22			h	47					h
	23			h	48					h
	24			h	49					h
	25			h	50					h
授業の方法	座学、ロールプレイング									
テキスト/参考文献	実践ビジネスマナー									
評価の方法や基準	身だしなみ25%授業態度、コミュニケーション50%試験25%									
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する										○
実務経験	ビジネスマナー講師 企業研修講師 サービス業 コーチング コミュニケーション講師 ナレーター 自営業									
実務経験の活かし方	魅せ方や声の指導、本音を引き出して考えてもらい自発的意思を育む サービス、価値の提供について実体験を伝える									
履修上の注意事項	マナー、コミュニケーションは想像力を使い積極的に取り組む ビジネススーツは指定の期間着用									

令和 6年度 シラバス

授業科目	一般教養	単位/時間	34h	
開講学科等	美容総合学科1年	担当教員	吉井 多絵	
授業の目的・テーマ	ビジネスの場で求められるWord、Excelの操作、ビジネスメールについて学ぶ。パソコンの便利な使い方とともに基本的なビジネスマナーについても学ぶ。			
授業の到達目標	ビジネスの場でパソコンをツールとして使いこなせるようになる。			
授業の計画	1	6月 19日 2h ガイダンス、PC基礎知識	26	月 日 h
	2	6月 26日 2h PC基本操作	27	月 日 h
	3	7月 3日 2h 【ビジネスメール】マナーとルール	28	月 日 h
	4	7月 10日 2h 【ビジネスメール】基本的なメール	29	月 日 h
	5	7月 17日 2h 【Word】文書作成と編集	30	月 日 h
	6	9月 4日 2h 【Word】ビジネス文書	31	月 日 h
	7	9月 11日 2h 【Word】表、画像の挿入	32	月 日 h
	8	10月 9日 2h 【Word】表現力をアップする機能	33	月 日 h
	9	10月 16日 2h 【Word】画像加工とチラシ作成	34	月 日 h
	10	10月 23日 2h 【Word】画像加工とチラシ作成	35	月 日 h
	11	10月 30日 2h 【Excel】基本操作	36	月 日 h
	12	11月 6日 2h 【Excel】数式と関数	37	月 日 h
	13	11月 13日 2h 【Excel】グラフ機能	38	月 日 h
	14	11月 20日 2h 【Excel】データベース機能	39	月 日 h
	15	11月 27日 2h 【連携】差込印刷	40	月 日 h
	16	12月 4日 2h 【連携】差込印刷	41	月 日 h
	17	12月 11日 2h まとめ	42	月 日 h
	18	月 日 h	43	月 日 h
	19	月 日 h	44	月 日 h
	20	月 日 h	45	月 日 h
	21	月 日 h	46	月 日 h
	22	月 日 h	47	月 日 h
	23	月 日 h	48	月 日 h
	24	月 日 h	49	月 日 h
	25	月 日 h	50	月 日 h
授業の方法	パソコンを使用した実習			
テキスト/参考文献	よくわかるWord2019、よくわかるExcel2019 (FOM出版)			
評価の方法や基準	出席、授業態度、提出物			
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する			○	
実務経験	パソコン教室、職業訓練校、専門学校、一般企業、官公庁、医療機関等にてパソコン講師。高知県会計年度任用職員（県立学校にてパソコン講師）。			
実務経験の活かし方	様々な業種や多分野での講師経験を活かし、実社会で求められるスキルをレクチャーします。			
履修上の注意事項	データ保存用USB、筆記用具 龍馬学園メールアカウント（※パスワード入力あり）			

令和 6 年度 シラバス

授業科目	色彩学	単位／時間	6 6 h			
開講学科等	美容総合学科 1年	担当教員	山崎道			
授業の目的・テーマ	色彩に関する基本的な理論や体系的な知識を身につける。 カラーカード・絵具(画材)を使用する実習を行い、色彩の基本的な事柄を習得する。					
授業の到達目標	色の特性を理解して、目的にあった「活かして使う・正しく使う」ことを展開する。 パーソナルカラーに基づいたイメージのカラーコーディネートができるようになる。 パーソナルカラー検定：3級資格を取得する。					
授業 の 計 画	1	4月 18日 3h	「色の基本」色の三属性一色名①	26	月 日 h	
	2	4月 25日 3h	「色の基本」色の三属性一色名②	27	月 日 h	
	3	5月 2日 3h	「色の基本」色の三属性一明度・彩度①	28	月 日 h	
	4	5月 9日 3h	「色の基本」色の三属性一明度・彩度②	29	月 日 h	
	5	5月 16日 3h	美術鑑賞：高知県立美術館 「イッタラ展」	30	月 日 h	
	6	5月 23日 3h	「色の基本」肌色と茶色	31	月 日 h	
	7	5月 30日 3h	パーソナルカラー 4つのグループ	32	月 日 h	
	8	6月 6日 3h	パーソナルカラー イエローベース	33	月 日 h	
	9	6月 13日 3h	パーソナルカラー ブルーベース	34	月 日 h	
	10	6月 20日 3h	パーソナルカラー 4つのグループ実習	35	月 日 h	
	11	6月 27日 3h	前期学期末試験 ファイリングチェック	36	月 日 h	
	12	10月 31日 3h	パーソナルカラー：Exercise ①	37	月 日 h	
	13	11月 7日 3h	パーソナルカラー：Exercise②	38	月 日 h	
	14	11月 14日 3h	パーソナルカラー：Exercise③	39	月 日 h	
	15	11月 21日 3h	パーソナルカラー：Exercis④	40	月 日 h	
	16	11月 28日 3h	パーソナルカラー：Exercis⑤	41	月 日 h	
	17	12月 5日 3h	パーソナルカラー：Exercis⑥	42	月 日 h	
	18	12月 12日 3h	パーソナルカラー：Exercis⑦	43	月 日 h	
	19	1月 9日 3h	パーソナルカラー 3級検定対策①	44	月 日 h	
	20	1月 16日 3h	パーソナルカラー 3級検定対策②	45	月 日 h	
	21	1月 23日 3h	パーソナルカラー 3級検定対策③	46	月 日 h	
	22	1月 30日 3h	パーソナルカラー 3級検定対策④	47	月 日 h	
	23	2月 3日 3h	パーソナルカラー 3級検定対策⑤	48	月 日 h	
	24	月 日 h		49	月 日 h	
	25	月 日 h		50	月 日 h	
授業の方法	講義・実習					
テキスト/参考文献	色彩活用 パーソナルカラー検定公式テキスト3級 / 配色カード199a					
評価の方法や基準	出席率(30%) 授業態度(20%) 実習課題(30%) 学期末試験(20%)					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○	
実務経験	建築設計事務所カラーコーディネート担当 パブリックアート設置(高知医療センター) アーティスト活動(個展・グループ展など)					
実務経験の活かし方	色彩を通して展開をしてきた内容を現在の社会状況を感じながら展開をしていく。					
履修上の注意事項	日頃から身の回りのことに興味を持ち、表現力を身につける。 資料・実習課題の保管をすること。					

令和 6 年度 シラバス

授業科目	美容総合技術 ヘアセット	単位/時間	42h							
開講学科等	美容総合学科 1年 (スタイリスト・ビューティ&ブライダルコース)	担当教員	濱田 孝映							
授業の目的・テーマ	ブローの基礎的なテクニックからアップスタイルのアート性を学び、コンテストに対応した技術を身につけさせる。									
授業の到達目標	授業で学んだテクニックを使ってアップスタイルの作品が作れるようになる。									
授業の計画	1	9/3	3h	ハンドドライヤーとブラシの基本操作	26					h
	2	9/10	3h	ホットカーラーの巻き方	27					h
	3	10/8	3h	〃	28					h
	4	####	3h	アイロンの基本操作	29					h
	5	####	3h	トップを使ったアップスタイル	30					h
	6	####	3h	〃	31					h
	7	11/5	3h	アップスタイル・作品作り	32					h
	8	####	3h	アップスタイル・作品作り	33					h
	9	####	3h	アップスタイル・作品作り	34					h
	10	####	3h	アップスタイル・作品作り	35					h
	11	12/3	3h	アップスタイル・作品作り	36					h
	12	1/7	3h	アップスタイル・作品作り	37					h
	13	1/14	3h	アップスタイル・作品作り	38					h
	14	1/21	3h	アップスタイル・作品作り	39					h
	15			h	40					h
	16			h	41					h
	17			h	42					h
	18			h	43					h
	19			h	44					h
	20			h	45					h
	21			h	46					h
	22			h	47					h
	23			h	48					h
	24			h	49					h
	25			h	50					h
授業の方法	デモから実習を行う。適宜プリント配布。									
テキスト/参考文献	美容実習 1・美容技術理論 1									
評価の方法や基準	授業態度 出席率 作品の完成度等の総合評価とする。									
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する										○
実務経験	美容師歴13年。養成施設教員歴12年。 美容技術理論・実習教員資格認定試験修了。									
実務経験の活かし方	サロンでの実際を交えながら技術大会アップスタイルの基礎力を身につける。									
履修上の注意事項	日常から想像力のあるアップスタイルへの関心を高める。 持参物：アップスタイル実習道具一式 筆記用具									

令和6年度 シラバス

授業科目	メイクベーシック	単位/時間	67									
開講学科等	美容総合学科1年	担当教員	山崎 紀代									
授業の目的・テーマ	美容師としてトータルで美を追求するためには不可欠なメイク知識。テクニックを学ぶ											
授業の到達目標	顔立ちに合わせてのメイクアップを可能にし、美しい所作も身につける											
授業の計画	1	4.17		3h	化粧品・道具・用具。備品の準備	26					h	
	2	4.24		3h	基礎技術理論	27					h	
	3	5.1		3h	スキンケア・クレンジング	28					h	
	4	5.8		3h	ベースメイクアップ	29					h	
	5	5.15		3h	ハイライト・シャドウ立体感。骨格	30					h	
	6	5.22		3h	チークメイクアップ	31					h	
	7	5.29		3h	アイメイク①	32					h	
	8	6.5		3h	アイメイク②	33					h	
	9	6.12		3h	アイブロウメイク	34					h	
	10	6.19		3h	リップメイクアップ	35					h	
	11	6.26		3h	スペースバランス理論	36					h	
	12	7.3	7.4		6h	プロポーションと形状眉のプロポーションと形状	37					h
	13	7.10	7.11		6h	リップのプロポーション	38					h
	14	7.17	7.18		6h	プロポーションの修正の技術と理論	39					h
	15	9.18			7h	ナチュラルメイク	40					h
	16	9.25			6h	テスト	41					h
	17	10.2			3h	テスト	42					h
	18				h		43					h
	19				h		44					h
	20				h		45					h
	21				h		46					h
	22				h		47					h
	23				h		48					h
	24				h		49					h
	25				h		50					h
授業の方法	相モデル											
テキスト/参考文献	教科書											
評価の方法や基準	実技テスト 授業態度											
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する											○	
実務経験	メイクアップアーティストとしての事務所所属・美容師としてサロンワーク、ブライダル 講師活動 ショー・雑誌撮影など											
実務経験の活かし方	メイクアップアーティストの仕事を理解してもらう											
履修上の注意事項	道具を管理し衛生面に気をつけるためアルコール消毒を用意する											

令和 6年度 シラバス

授業科目	美容総合技術 ヘアカラー	単位/時間	15h		
開講学科等	美容総合学1年生スタイリストコース	担当教員	前田 誠一		
授業の目的・テーマ	ヘアカラー基礎知識・技術				
授業の到達目標	ヘアカラー基礎テクニックの習得				
授業 の 計 画	1	月 日 h	ヘアカラー色彩学	26	月 日 h
	2	月 日 h	ファッションカラー塗布(トレクリ)	27	月 日 h
	3	月 日 h	リタッチ塗布(トレクリ)	28	月 日 h
	4	月 日 h	ブリーチ塗布(トレクリ)	29	月 日 h
	5	月 日 h	ブリーチ塗布(パウダー)	30	月 日 h
	6	月 日 h		31	月 日 h
	7	月 日 h		32	月 日 h
	8	月 日 h		33	月 日 h
	9	月 日 h		34	月 日 h
	10	月 日 h		35	月 日 h
	11	月 日 h		36	月 日 h
	12	月 日 h		37	月 日 h
	13	月 日 h		38	月 日 h
	14	月 日 h		39	月 日 h
	15	月 日 h		40	月 日 h
	16	月 日 h		41	月 日 h
	17	月 日 h		42	月 日 h
	18	月 日 h		43	月 日 h
	19	月 日 h		44	月 日 h
	20	月 日 h		45	月 日 h
	21	月 日 h		46	月 日 h
	22	月 日 h		47	月 日 h
	23	月 日 h		48	月 日 h
	24	月 日 h		49	月 日 h
	25	月 日 h		50	月 日 h
授業の方法	座学・実技・実習				
テキスト/参考文献					
評価の方法や基準	授業態度・理解力・意欲・自発力				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○
実務経験	ヘアカラーリストとして、ヘアカラー専門店起業				
実務経験の活かし方	一人ひとりと丁寧に向き合い、必要な知識・技術・心得を解りやすい伝え、自発性が高まる教育。				
履修上の注意事項					

令和 6 年度 シラバス

授業科目	美容総合技術ヘアデザイン	単位/時間	65h								
開講学科等	美容総合学1年生スタイリストコース	担当教員	中村 光良								
授業の目的・テーマ	カットパーマ基礎知識・技術										
授業の到達目標	ヘアスタイル基礎技術の習得										
授業の計画	1	5.7		3h	ウィックシャンプードライ	26					h
	2	5.21		3h	ウィックシャンプードライ	27					h
	3	6.4		3h	ヘアアイロン	28					h
	4	6.18		3h	ヘアアイロン	29					h
	5	6.25		3h	ロールアイロン	30					h
	6	7.16		3h	ロールアイロン	31					h
	7	9.6		4h	ワインディング縦巻き	32					h
	8	9.9	9.12	9.13	4h	ワインディング縦巻き	33				h
	9	9.20			7h	ワインディングスパイラル	34				h
	10	9.27			7h	ワインディングスパイラル	35				h
	11	10.2			4h	ワインディングツイスト	36				h
	12	11.1	3		3h	ワインディングツイスト	37				h
	13	11.2	0		3h	ツイストスパイラル	38				h
	14	11.2	7		3h	ツイストスパイラル	39				h
	15	12.4			3h	カット基礎	40				h
	16	12.1	1		3h	カット基礎	41				h
	17				h		42				h
	18				h		43				h
	19				h		44				h
	20				h		45				h
	21				h		46				h
	22				h		47				h
	23				h		48				h
	24				h		49				h
	25				h		50				h
授業の方法	・実技・実習										
テキスト/参考文献	最新ヘアスタイルbookを参照										
評価の方法や基準	作品のクオリティーや理解度										
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する											○
実務経験	美容師としての実務経験										
実務経験の活かし方	基礎技術を習得し幅広いヘアスタイル作りに役立てる										
履修上の注意事項	学んだ技術の反復練習をさせる										

令和 6年度 シラバス

授業科目	美容総合技術ヘアデザイン	単位/時間	15時間		
開講学科等	美容総合学1年生スタイリストコース	担当教員	岡 宏美		
授業の目的・テーマ	ウィッグによるデザイン技術・理論				
授業の到達目標	作品作り（基礎）				
授業 の 計 画	1	10月 9日 3h	スタイルワーク（カラー）	26	月 日 h
	2	10月 16日 3h	スタイルワーク（カット）	27	月 日 h
	3	10月 23日 3h	スタイルワーク（カラー・カット）	28	月 日 h
	4	10月 30日 3h	スタイルワーク（カラー・カット）	29	月 日 h
	5	11月 6日 3h	スタイルワーク（メイク）	30	月 日 h
	6	月 日 h		31	月 日 h
	7	月 日 h		32	月 日 h
	8	月 日 h		33	月 日 h
	9	月 日 h		34	月 日 h
	10	月 日 h		35	月 日 h
	11	月 日 h		36	月 日 h
	12	月 日 h		37	月 日 h
	13	月 日 h		38	月 日 h
	14	月 日 h		39	月 日 h
	15	月 日 h		40	月 日 h
	16	月 日 h		41	月 日 h
	17	月 日 h		42	月 日 h
	18	月 日 h		43	月 日 h
	19	月 日 h		44	月 日 h
	20	月 日 h		45	月 日 h
	21	月 日 h		46	月 日 h
	22	月 日 h		47	月 日 h
	23	月 日 h		48	月 日 h
	24	月 日 h		49	月 日 h
	25	月 日 h		50	月 日 h
授業の方法					
テキスト/参考文献	インスタグラム				
評価の方法や基準	授業態度・仕上がり				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○
実務経験	現役トップスタイリストとして株式会社トーリに勤務。 現在はクリエイティブディレクターとして、社内教育に携わる				
実務経験の活かし方	生徒の年代に合わせた顧客ニーズをつかむスタイルづくり				
履修上の注意事項	持参物・カット道具一式、カールアイロン、ストレートアイロン ドライヤー、スマートフォン、メイク道具				

令和 6 年度 シラバス

授業科目	美容総合技術 福祉美容	単位/時間	32h							
開講学科等	美容総合学科 1年 スタイリストコース	担当教員	中村 光良							
授業の目的・テーマ	高齢者、障がい者の社会制度を学びサポート出来るように知識やボディメカニクスを学ぶ。									
授業の到達目標	1人、1人が高齢者、障がい者の《尊厳》を守り、《その人らしさ》を出し《生活》をサポート出来る 福祉理美容士を目指す。									
授業の計画	1	1.8	4h	福祉の基本的理解 高齢者福祉制度	26					h
	2	1.15	4h	障がい者福祉制度 福祉理美容	27					h
	3	1.22	4h	訪問理美容の現状	28					h
	4	1.29	4h	障がい/病気の理解	29					h
	5	2.5	4h	認知症高齢者の理解と対応	30					h
	6	2.12	4h	寝たきりシャンプー寝たきりカット	31					h
	7	2.19	2.21	ボディメカニズム テスト	32					h
	8				h	33				h
	9				h	34				h
	10				h	35				h
	11				h	36				h
	12				h	37				h
	13				h	38				h
	14				h	39				h
	15				h	40				h
	16				h	41				h
	17				h	42				h
	18				h	43				h
	19				h	44				h
	20				h	45				h
	21				h	46				h
	22				h	47				h
	23				h	48				h
	24				h	49				h
	25				h	50				h
授業の方法	テキスト、実技デモからの実習、寝たきりシャンプー、寝たきりカットの実習									
テキスト/参考文献	福祉理美容士養成講座テキスト									
評価の方法や基準	授業態度 出席率 実習・テスト 総合評価									
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する										○
実務経験	特定NPO法人日本理美容福祉協会（校内認定講師）日本理容美容教育センター（衛生管理									
実務経験の活かし方	高齢者、障がいを持った人のサポートが社会現場で生かせる。									
履修上の注意事項	筆記用具									

令和 6 年度 シラバス

授業科目	美容総合技術 ヘアセット		単位/時間	42h							
開講学科等	美容総合学科1年 スタイリストコース		担当教員	濱田 孝映							
授業の目的・テーマ	ブローの基礎的なテクニックからアップスタイルのアート性を学び、コンテストに対応した技術を身につけさせる。										
授業の到達目標	授業で学んだテクニックを使ってアップスタイルの作品が作れるようになる。										
授業の計画	1	9/3	3h	ハンドドライヤーとブラシの基本操作	26					h	
	2	9/10	3h	ホットカーラーの巻き方	27					h	
	3	10/8	3h	〃	28					h	
	4	####	3h	アイロンの基本操作	29					h	
	5	####	3h	トップを使ったアップスタイル	30					h	
	6	####	3h	〃	31					h	
	7	11/5	3h	アップスタイル・作品作り	32					h	
	8	####	3h	アップスタイル・作品作り	33					h	
	9	####	3h	アップスタイル・作品作り	34					h	
	10	####	3h	アップスタイル・作品作り	35					h	
	11	12/3	3h	アップスタイル・作品作り	36					h	
	12	1/7	3h	アップスタイル・作品作り	37					h	
	13	1/14	3h	アップスタイル・作品作り	38					h	
	14	1/21	3h	アップスタイル・作品作り	39					h	
	15			h		40					h
	16			h		41					h
	17			h		42					h
	18			h		43					h
	19			h		44					h
	20			h		45					h
	21			h		46					h
	22			h		47					h
	23			h		48					h
	24			h		49					h
	25			h		50					h
授業の方法	デモから実習を行う。適宜プリント配布。										
テキスト/参考文献	美容実習1・美容技術理論1										
評価の方法や基準	授業態度 出席率 作品の完成度等の総合評価とする。										
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する										○	
実務経験	美容師歴13年。養成施設教員歴12年。 美容技術理論・実習教員資格認定試験修了。										
実務経験の活かし方	サロンでの実際を交えながら技術大会アップスタイルの基礎力を身につける。										
履修上の注意事項	日常から想像力のあるアップスタイルへの関心を高める。 持参物：アップスタイル実習道具一式 筆記用具										

令和6年度 シラバス

授業科目	美容総合技術ネイルコース I		単位／時間	169時間		
開講学科等	美容総合学科1年ネイルコース		担当教員	矢野愛／久川理香		
授業の目的・テーマ	JNAテクニカルシステムベーシックに基づき、ネイルの基本となるネイルケアやカラーリングアート技術と理論を学び3級技能検定試験課題をマスターし、3級技能検定試験後はネイリストとして必要な技術であるリペア（修理）技術にも対応出来るチップ&ラップやフラットアートを爪に施される技術と理論を学び2級技能検定試験が合格する事を目標とする。					
授業の到達目標	①ネイリスト技能検定試験3級合格（70分でネイルケアとカラーリング・フラットアートの技術が検合格ラインに達している。）②ネイリスト技能検定試験2級合格（前半35分でネイルケア後半55分でカラーリング・フラットアート・チップ&ラップの技術が合格ラインに達している。）③ジェルネイル技能検定初級合格（第一課題35分ケア、第二課題60分でジェルカラーリング&アートの各課題の技術が合格レベルに達している。）					
授業の計画	1	5月 7日 3h	試験要項・テーブルセッティング	20	10月 23日 3h	3級通し
	2	5月 14日 3h	3級デモモンstrーション・ファイリング	21	10月 29日 3h	2級・ジェルネイル試験要項・道具チェック
	3	5月 21日 3h	ネイル理論		10月 30日 3h	初級デモモンstrーション
	4	5月 28日 3h	ラウンドファイリング	22	11月 5日 3h	初級（復習）
	5	6月 4日 3h	ラウンドファイリング（復習）		11月 6日 3h	初級（復習）
	6	6月 11日 3h	ネイルケア（フッシュアップ・ダウ・キューティクルカット）	23	11月 12日 3h	ジェル理論
	7	6月 18日 3h	ネイルケア（復習）		11月 13日 3h	2級デモモンstrーション・チップ&ラップ
	8	6月 25日 3h	ネイルケア	24	11月 19日 3h	2級チップ&ラップ（復習）
	9	7月 2日 3h	ファイリング・ネイルケア（復習）		11月 20日 3h	2級チップ&ラップ（復習）
	10	7月 9日 3h	ネイルケア・カラーリング	25	11月 26日 3h	2級チップ&ラップ（復習）
	11	7月 16日 3h	ネイルケア・カラーリング		11月 27日 3h	2級チップ&ラップ
	12	9月 3日 3h	ネイルアート	26	12月 3日 3h	初級（復習）
	13	9月 6日 4h	ネイルケア・カラーリング		12月 4日 3h	初級（復習）
	14	9月 10日 3h	フットケア	27	12月 11日 3h	初級ジェル・カラーリング・ヒールコック
	14	9月 12日 3h	検定対策	28	1月 7日 3h	2級チップ&ラップ（復習）
		9月 13日 4h	検定対策		1月 8日 4h	2級カラーリング・アート
	15	9月 19日 3h	検定対策	29	1月 14日 3h	2級カラーリング・アート（復習）
		9月 20日 7h	検定対策		1月 15日 4h	初級通し（復習）
	16	9月 27日 7h	検定対策	30	1月 21日 3h	初級通し（復習）
	17	10月 2日 4h	検定対策		1月 22日 4h	初級技術チェック
18	10月 8日 3h	ネイルアート（復習）	31	1月 29日 4h	2級チップ&ラップ（復習）	
	10月 9日 3h	3級通し	32	2月 5日 4h	2級通し	
19	10月 15日 3h	3級通し（復習）	33	2月 12日 4h	2級通し（復習）	
	10月 16日 3h	3級通し	34	2月 19日 4h	2級通し	
20	10月 22日 3h	3級通し（復習）	35	2月 26日 4h	2級通し	
授業の方法	実習・講義					
テキスト/参考文献	JNAテクニカルシステムベーシック・JNAテクニカルシステムアドバンス・JNAテクニカルシステムジェルネイル・ネイルキット					
評価の方法や基準	提出物、授業態度、出席率、実技チェック					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○	
実務経験	ネイルサロン・スクール経営・JNA本部認定講師					
実務経験の活かし方						
履修上の注意事項	相モデルにての実習形式・マナー（髪の毛は結ぶ）・爪はモデルができる長さ					

令和 年度 シラバス

授業科目	メイクアドバンス1年		単位/時間	94h							
開講学科等	美容総合学科ビューティ&ブライダルコース1年		担当教員	山崎 紀代							
授業の目的・テーマ	メイクアップの基礎技術から道具の使い方 カウンセリングなどメイクアップのプロとして仕事に就けるマナー技術を身につける。メイクアップの表現ができる感性を磨く。										
授業の到達目標	デモンストレーションから美容におけるメイクの重要性を知り それぞれの化粧品の知識 技術など名称を覚える										
授業の計画	1	9.6	4h	アイメイク 応用編	26					h	
	2	9.12	9.13	7h	ビューティメイク	27					h
	3	9.19	9.20	10h	アートメイク	28					h
	4	9.27		7h	傷メイク	29					h
	5	10.2		4h	フェイスペインティング	30					h
	6	10.9		3h	ハロウィンメイク	31					h
	7	10.16		3h	スペースバランシングと立体メイク	32					h
	8	10.23		3h	スペースバランシングと立体メイク	33					h
	9	10.30		3h	立体感の作り方	34					h
	10	11.6		3h	アイメイク 応用編	35					h
	11	11.13		3h	アイブローメイク	36					h
	12	11.20		3h	チークメイク	37					h
	13	11.27		3h	リップメイク	38					h
	14	12.4		3h	コントロールカラー	39					h
	15	12.11		3h	イメージの表現1	40					h
	16	1.8		4h	イメージの表現2	41					h
	17	1.15		4h	イメージの表現3	42					h
	18	1.22		4h	イメージの表現テスト1	43					h
	19	1.29		4h	イメージの表現テスト2	44					h
	20	2.5		4h	イメージの表現4	45					h
	21	2.12		4h	イメージの表現5	46					h
	22	2.19	2.21	8h	イメージの表現テスト	47					h
	23			h		48					h
	24			h		49					h
	25			h		50					h
授業の方法	相モデル コンテスト作品づくり 写真撮影										
テキスト/参考文献	授業態度、実技テスト、理論テスト										
評価の方法や基準	実習・実技総合評価										
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する										○	
実務経験	メイクアップアーティストとしての事務所所属・美容師としてサロンワーク、ブライダル 講師活動										
実務経験の活かし方	メイクアップアーティストとしての事務所所属・美容師としてサロンワーク、ブライダル 講師活動										
履修上の注意事項	道具を管理し衛生面に気をつけるためアルコール消毒を用意する										

令和 6年度 シラバス

授業科目	美容総合技術 着付け	単位/時間	33h		
開講学科等	美容総合学科ビューティ&ブライダルコース1年	担当教員	斧山 睦		
授業の目的・テーマ	和装及び着付けの知識を学び、着付けができるようになる。				
授業の到達目標	着付けの一般常識を知り、留袖着付けが出来る。				
授業 の 計 画	1	5月 7日 3h	和装の基礎知識・着付展示	26	月 日 h
	2	5月 14日 3h	着付け準備・補正	27	月 日 h
	3	5月 21日 3h	着付け準備・長襦袢着付け	28	月 日 h
	4	5月 28日 3h	長襦袢着付けから着物着付け	29	月 日 h
	5	6月 4日 3h	長襦袢着付けから着物着付け	30	月 日 h
	6	6月 11日 3h	帯結び二重太鼓	31	月 日 h
	7	6月 18日 3h	帯結び二重太鼓	32	月 日 h
	8	6月 25日 3h	留袖着付け・二重太鼓	33	月 日 h
	9	7月 2日 3h	留袖着付け・二重太鼓	34	月 日 h
	10	7月 9日 3h	時間内に着付けをする	35	月 日 h
	11	7月 16日 3h	ゆかた着付け	36	月 日 h
	12	月 日		37	月 日 h
	13	月 日 h		38	月 日 h
	14	月 日 h		39	月 日 h
	15	月 日 h		40	月 日 h
	16	月 日 h		41	月 日 h
	17	月 日 h		42	月 日 h
	18	月 日 h		43	月 日 h
	19	月 日 h		44	月 日 h
	20	月 日 h		45	月 日 h
	21	月 日 h		46	月 日 h
	22	月 日 h		47	月 日 h
	23	月 日 h		48	月 日 h
	24	月 日 h		49	月 日 h
	25	月 日 h		50	月 日 h
授業の方法	相モデルまたは着付け用のボディを使って着付けをする。				
テキスト/参考文献	技術理論の教科書				
評価の方法や基準	出席状況、授業態度などによって総合的に評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○
実務経験	美容科、総合美容学科、TB科及び美容所、出張会場にて実務あり				
実務経験の活かし方	職業に活かせるような心がけや丁寧にスムーズな身動きを伝える。				
履修上の注意事項	持参品を伝える。				

令和 6 年度 シラバス

授業科目	美容総合技術 ヘアセット	単位/時間	42h							
開講学科等	美容総合学科ビューティ&ブライダルコース1年	担当教員	濱田 孝映							
授業の目的・テーマ	ブローの基礎的なテクニックからアップスタイルのアート性を学び、コンテストに対応した技術を身につけさせる。									
授業の到達目標	授業で学んだテクニックを使ってアップスタイルの作品が作れるようになる。									
授業の計画	1	9/3	3h	ハンドドライヤーとブラシの基本操作	26					h
	2	9/10	3h	ホットカーラーの巻き方	27					h
	3	10/8	3h	〃	28					h
	4	####	3h	アイロンの基本操作	29					h
	5	####	3h	トップを使ったアップスタイル	30					h
	6	####	3h	〃	31					h
	7	11/5	3h	アップスタイル・作品作り	32					h
	8	####	3h	アップスタイル・作品作り	33					h
	9	####	3h	アップスタイル・作品作り	34					h
	10	####	3h	アップスタイル・作品作り	35					h
	11	12/3	3h	アップスタイル・作品作り	36					h
	12	1/7	3h	アップスタイル・作品作り	37					h
	13	1/14	3h	アップスタイル・作品作り	38					h
	14	1/21	3h	アップスタイル・作品作り	39					h
	15			h	40					h
	16			h	41					h
	17			h	42					h
	18			h	43					h
	19			h	44					h
	20			h	45					h
	21			h	46					h
	22			h	47					h
	23			h	48					h
	24			h	49					h
	25			h	50					h
授業の方法	デモから実習を行う。適宜プリント配布。									
テキスト/参考文献	美容実習 1・美容技術理論 1									
評価の方法や基準	授業態度 出席率 作品の完成度等の総合評価とする。									
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する										○
実務経験	美容師歴13年。養成施設教員歴12年。 美容技術理論・実習教員資格認定試験修了。									
実務経験の活かし方	サロンでの実際を交えながら技術大会アップスタイルの基礎力を身につける。									
履修上の注意事項	日常から想像力のあるアップスタイルへの関心を高める。 持参物：アップスタイル実習道具一式 筆記用具									